

学校評価シート（自己評価）

愛隣 幼稚園

1、園の教育目標

「つよい体やさしい心の子どもに育てる」を学園理念とし、総合的な経験や具体的な活動を通して情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。

子育て付加事業により、保育者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

- 一、心身共に健康で明るい子ども
- 一、がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども
- 一、優しく素直で、思いやりのある子ども
- 一、ご挨拶の出来る子ども

2、具体的な目標や計画

- ・家庭的保育かつ集団生活における教育の中で、一人一人がいきいきとした生活を送れるようにする。
- ・幼稚園の教育課程の内容を再度確認したり、教職員の共通理解を図り、教育の質を高めていく。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
教育理念や基本方針が明文化され、周知されているか	A	教育理念をもとに学年で指導計画を立てる。保育室の目に付くところに掲示することで意識する事ができ、保育者にも繰り返し伝える事ができる。
教育目標をふまえて日々の保育を行っているか	B	一人ひとりの個性を大切に、安心して園生活を過ごし、自信を持って行動できるように保育をしている。
子どもと遊ぶ大切さについて	A	遊びを通して子どもの成長を見ることができ、心身の成長の手助けをする事ができた。
子どもに対しての言葉掛けや関わり方	B	子どもの目線に合わせ、一人ひとりが気持ちを表現できる様に関わっている。 教育者という立場での言葉掛けを工夫していきたい。
会議録や、職員とのコミュニケーションから、園児の必要な情報などを周知する	B	毎日の職員会議で、クラスや個人の様子、出来事等報告し合い共有する事ができていた。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	子どもたちが安心して園生活を送るために、保育者は一人ひとりの関わりを大切にする姿が見られた。 教職員の園内研修で共通理解を図り、安全に保育ができるように環境を整えてきた。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
指導計画の編成 家庭との連携	園の環境や子どもの育ちに合わせ、新たな計画の編成に取り組む。 「家庭との連携」をとった保育を行っていきたいので、懇談会や面談などで分かりやすく説明し、協力を求め共有していきたい。
自己点検、 自己評価	学校評価の主旨をきちんと理解し、自分たちの取り組みを冷静に見つめ直し、その気づきを改善課題として受け止め、改善方策につなげていく。
(連携施設) 乳児組との関わり	行事は一緒に行っているが、子どもたち同士が一緒に遊べる時間がほとんど作れなかった。自由遊びの時間を一緒にしたり、増やしていくことで関わりを多くし道徳心を育てていきたい。